

夏本番！暑熱対策に取り組みましょう！

牛編

今年は、例年よりも早い梅雨明けが発表され、毎日非常に暑い日が続いています。温度・湿度が高いと菌やウイルスが動きやすく、乳房炎等の病気が蔓延しやすくなる傾向があります。適切な飼養管理で、家畜を暑さから守りましょう。

○牛舎の環境改善

- 屋根や壁に白色ペンキや石灰を塗り、気温上昇を抑える。
- 寒冷紗や緑のカーテンにより、直射日光を遮断する。
- 扇風機についた埃や蜘蛛の巣を取り除き、風量を回復させる。
- こまめな除糞で、発酵熱やアンモニアの発生を抑える。
- 畜舎周りの除草や片付けをして、風通しを良くする。

○牛への暑熱対策

- 毛を短く刈ったり、体についた糞の鎧を取り除くことで、体表面からの熱放散を促進する。
- 給水管を太いものに交換し、十分な飲水量を確保する。
- 涼しい夜間の飼料給与を増やす。
- 不足しがちなビタミン、ミネラル（鉍塩）、重曹などを給与する。

○飼料作物への対策

- 過放牧や過度の刈取りを避け、草勢の維持に努める。
- 有機質を多投し、土壌の保水力の向上に努める。
- 耐干性、越夏性に優れた草種、品種を選んで播種する。



家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771(平日) FAX・・・0551-22-6728
土日・休日・夜間の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817

夏本番！暑熱対策に取り組みましょう！

養豚編

今年は、例年よりも早い梅雨明けが発表され、毎日非常に暑い日が続いています。温度・湿度が高いと菌やウイルスが動きやすく、病気が蔓延しやすくなる傾向があります。

適切な飼養管理で、家畜を暑さから守りましょう。



○豚舎の環境改善

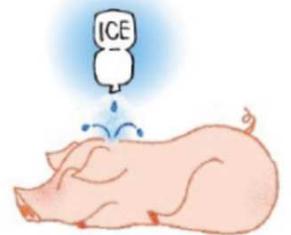
- 屋根や壁に白色ペンキや石灰を塗り、日光による気温上昇を抑える。
- 寒冷紗や緑のカーテンにより、直射日光を遮断する。
- 扇風機についた埃や蜘蛛の巣を取り除き、風量を回復させる。
- こまめな除糞で、発酵熱やアンモニアの発生を抑え、衛生害虫の発生を予防する。
- 畜舎周りの除草や片付けをして、風通しを良くする。
- 風が一方向に流れるように窓の開け方を工夫する。

○豚への暑熱対策

- 適正な飼養密度を守り、体熱の放散を促進させる。
- ニップルから十分に水が出ているか、飲水装置の点検整備を実施する。
- 健康観察を徹底し、異状の早期発見に努める。

ペットボトルと氷水を活用した暑熱対策

- 手順① 2Lのペットボトルに8分目くらい水を入れて凍らせる。
(満タんだと破裂します。)
- 手順② 紐等で授乳母豚の首筋～肩の上に逆さにして吊す。
(母豚の届かない高さに吊します。)
- 手順③ 無くなったら取り替える。
(涼しくなるまで繰り返し実施しましょう。)



家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで

電話・・・0551-22-0771(平日) FAX・・・0551-22-6728

土日・休日・夜間の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817

夏本番！暑熱対策に取り組みましょう！

養鶏編

今年も、例年よりも早い梅雨明けが発表され、毎日非常に暑い日が続いており、熱射病等が発生しやすい気候になってきました。適切な飼養管理で、家畜を暑さから守りましょう。



○鶏舎の環境改善

- 屋根や壁に白色ペンキや石灰を塗り、日光による気温上昇を抑える。
- 屋根にパイプ・スプリンクラーを付けて、散水する。
- 寒冷紗や緑のカーテンにより、直射日光を遮断する。
- こまめに除糞を行い、鶏舎内の発酵熱を減らす。
- 畜舎周りの除草や片付けをして、風通しを良くする。

○鶏への暑熱対策

- 扇風機・ダクトの清掃・整備を行い、換気の改善を行う。
(羽についた埃や蜘蛛の巣を取り除くと、風量が回復！)
- 湿度の低い日は、散霧装置で散水する。
- 早朝や夕方の涼しい時間帯に採食させる。
- 不足しがちなビタミン、ミネラルを給与する。
- 適正な飼養密度を守り、体熱の放散を促進させる。
- 飲水装置の末端を開放するなどし、水温を低く保つ。
- 健康観察を徹底し、異状の早期発見に努める。

**暑熱の影響により家きんの死亡率が上昇した場合でも、
万一の鳥インフルエンザの発見や発生拡大を防ぐために、
家畜保健衛生所で状況の確認をしますので、
必ず家畜保健衛生所までご連絡をお願いします！！**



家畜の病気に関するお問合せは山梨県西部家畜保健衛生所まで
電話・・・0551-22-0771(平日) FAX・・・0551-22-6728
土日・休日・夜間の連絡は・・・090-5564-1018または090-5568-0817